こんなに 素晴らしい世界 なのに



Index

この世界は驚くべき秩序でできている!		3
■ この世界はどうしてできたのですか?		8
■ 科学か宗教か?		1
■ デザイナーが存在する?!		1.
■ では、なぜ災害も死もある世界なのですか	?	1
■ よくある質問		2





この世界は驚くべき秩序でできている!

日本の四季は、世界でも類を見ないほど表情豊かです。季節の移ろい。 霜柱の中からふきのとうやつくしが顔を出します。菜の花の黄色が目立ち始めると、 桜が満開になります。まばゆいばかりの新緑は日に日に色合いを深めていきます。 田植えが終わると梅雨、夕暮れにはホタルが灯をともします。鬱蒼と茂った鎮守の森 に耳をつんざくセミの声、照り付ける太陽と夕立が稲を育てます。





朝夕が涼しくなると、虫の声が響き、澄み切った空を渡り鳥が横切り始めます。山の木々が赤く染まると、里では稲刈りです。まもなく真っ白な雪で覆われます。

私たちは美しい自然と穏やかに廻る季節の中で生活してきました。そして、この世界の 存在と周囲の自然環境を、あたりまえのように受けとめています。

しかし幼い頃は、この世界の不思議を思い、とても新鮮な気持ちで自然を見ていたのではないでしょうか。落ち着いてこの世界を見つめ直せば、さりげない自然の中に、とてつもない秩序と温もりが存在していることに、改めて驚かされます。

季節がなければ、何と単調な世界でしょう。季節があるのは、地球が絶妙な角度で傾きながら太陽の周りを回っているからです。このことが、穏やかな気候と美しい四季をもたらしています。植物も動物も季節に合わせて活動し、いのちをつないでゆきます。

プ人はとても不思議な物質です。非常に高い保温性で、太陽から受けた熱を絶妙に保ち、地球に穏やかな気候をもたらしています。 また、生命に必要な栄養素を溶かして運ぶことができるので、すべての生きものに欠かせません。

植物は生命に必要な環境を作り出しています。食物を供給し、また、空気中の二酸化炭素を吸収して酸素を供給します。森は水を蓄え、木材などの材料や燃料を提供してくれます。そして、季節ごとに咲く色とりどりの花は、私たちの目を楽しませてくれます。

小さな花を覗いてみると、そこは幾何学模様の世界です。 いったいどうしてこのようなものができるのでしょう。 そこには驚くべき秩序が見えているではありませんか。 たった一粒の種からこのような植物が生長できるのは、 その種の中に、固有の生長がプログラムされた 設計図(DNA)が書き込まれているからです。 そして、お米からは必ずイネができ、りんごの 種からは必ずりんごの木ができることを 私たちは知っています。

大間 は特別な存在です。ことばを操り、物を作り出すことができます。音楽や絵画などを創作し、味わうことができます。 また、道徳を持っており、思いやりをもって慈善活動をすることができます。 これらの点で、人間は、

生存のための本能で動く動物と決定的に異なっています。

人間の細胞は 60~100 氷個もあるそうですが、それぞれの細胞 には、遺伝情報が書かれた DNAという分子が格納されています。 DNAは、2本の紡がれた長いひもの間を4種類の文字(塩基)が 30 億列も並び、私たちの身体の設計図となっています。その情報量 は、およそ 500 冊の百科事典に相当します。DNAは一生の間、 身体を管理しています。傷が治るのもDNAのおかげです。 これが一部でも壊れると、病気や障害が起こります。つまり 私たちの身体の精巧さは、DNAに書かれた 30 億字の 文章が生み出しているのです。どのようにして このようなものができたのでしょうか?

進化論によれば、長い間に 偶然が重なってできたと言われています。 しかし、紙の上に無造作にインクを何億回 吹き付けても、偶然には短い文章でさえ 綴られることがないことを私たちは知っています。

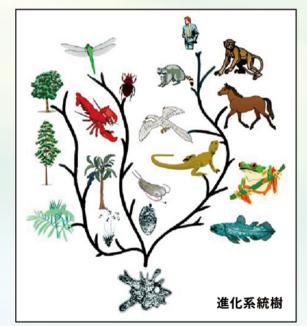
この世界はどうしてできたのですか?

この秩序に満ちた世界も、私たちも、どこから 来たのでしょうか?この世界がどうしてできたのか? という質問は、私たちがどこから来たのか? という質問でもあります。どこから来たのかが わからなければ、私たちがなぜ存在し、 どこへ行くのかもわかりません。

■ 偶然の産物?

『百数十億年も昔、偶然、何もないところから、宇宙が跳び出し(ビッグバン)、星、太陽、地球ができた。泥の中で偶然アミノ酸ができ、偶然が重なってアメーバのようなものが生まれた。さらに生存競争と偶然が重なって生物が変化し、ついには人間になった』。このように、すべては偶然によって単純なものから複雑なものに変化して

きたという考え方は進化論と 呼ばれています。進化論では、 創造者は存在せず、宇宙も 地球も生命も、そして私たちも 偶然の産物です。しかし…。



■ デザインの結果?

この世界は驚くべき秩序でできています。美しい日本の四季も、不思議な物質である水も、植物も、蝶も、渡り鳥も、そして地球もすべて、素晴らしい秩序を持っていて、それらが互いに調和しながら巨大な生命圏を作り出しています。意思と知性によってデザインしなければ、このような世界はできないでしょう。

人形を見て、それが偶然にできたと思う人はいません。きっと誰かが製作したはずだと言うでしょう。人間は人形よりはるかに複雑で精巧な存在ですね。ならば、なおさら、知性ある何者かが意思をもってデザインしたはずです。この考え方は創造論と呼ばれ、聖書に書かれています。



科学か宗教か?

■ それって科学? *1

科学はすばらしいものです。太陽系探査機『はやぶさ』が帰還できるのも、私たちに医薬品、コンピュータなどがもたらされたのも、科学のおかげです。そして、科学に必要なのは実験です。推論を立てて、それを検証するために実験を繰り返します。そして、この方法は実験で証明されるので、憶測が入る余地はまずありません。物理学や化学はこのような方法で成立してきたもので、『実験科学』と呼ばれています。これらを通して得た知識は社会に多大な貢献をしました。ところが、もうひとつ、過去を扱う『歴史科学』と呼ばれる種類のものがあります。進化論や考古学がそれにあたります。



過去に起こったことは、正確な再現も実験もできません。ですから『歴史科学』においては、現在のものから過去を推測するしかありません。そして、遠い過去になればなるほど憶測が重なり、学者の個人的な信念が入る可能性が高くなります。そのため、『科学』として打ち立てられたように見える学説でも、学者の個人的な世界観に過ぎないこともあるのです。『歴史科学』はこのように不確実なものなのですが、実験科学が目覚しい成果をあげてきたので、歴史科学の憶測による主張も、実験科学と同じくらい信頼できると考える人が多いのです。

■ どっちが科学的? *2

例外なく、時間と共にエネルギーは消耗し、秩序は混沌に向かうという物理法則 (熱力学第2法則)があります。この法則に従って過去にさかのぼると、エネルギーが 最大で、秩序も最高だった時点があるはずです。しかし、そのようなものがいきなり 偶然に生じるはずはありません。必ずそれをもたらしたデザイナーがいるはずだ、という結論に至ります。

進化論では、長い時間をかけて、単純なアメーバから複雑な人間に変化した、と言われています。ところが、人間はアメーバよりはるかに複雑で、DNAの情報量も桁違いに多いのです。これが起こるためには、目や耳や脳を造る適正な遺伝情報が、大量に増し加えられなければなりません。

もし、DNAの情報がわずかでも増加することが見つかったなら、アメーバから哲学者になると考えても、それは理にかなっています。しかし現実には、DNAの情報がいくらかでも増加する例はみごとなまでに見つからないのであり、このことはすべての論争をやめさせるのに十分です。形あるものは崩れていく一方であり、自然に組み

立てられることはありません。この点で、進化論は全く物理法則に反しています。身近な例でも、進化で新しい生物ができたとか、動物園のサルが人間になってきた、などという話は聞いたことがないでしょう。(よくある '新種の発見'という報道は、'既存の生物が新たに見つかった'という意味です)

逆に、多くの生物が絶滅の危機にある、というニュースはよく耳にします。 現実には、むしろ退化しているように見えます。 あなたは、進化論と創造論のどちらが科学的な考え方だと思いますか?

■ 科学か宗教か?*1*2

進化論は科学で、創造論(聖書の考え方)は宗教であると多くの人は考えています。 しかし、過去を扱うどちらの考えも証明することは不可能なので、実際には異なった 前提に基づいた2つの世界観であるということができます。それぞれの前提とは、

進化論の前提…『デザイナー (創造主)がいない (=無神論)』 創造論の前提…『デザイナー (創造主)がいる (=聖書)』

率直に言いましょう、進化論も創造論も信仰です。私たちは確認したことのない 進化論の考えを、信仰で選び取っているのです。20世紀の学術社会で「超越的デザイナーを想定する考え方はすべて非科学的である」と吹聴されたので、このことが 隠されてしまいました。

しかし世界の成り立ちには、勝手にできたか、創られたか、のどちらかしかありません。 つまり、進化か創造のどちらかが必ず真理です。あなたは、進化論を信じ続けること も、創造を選び取って信じることもできます。 創造を信じることは、科学的にも筋が通り、はるかに常識的です。ちょっと立ち止まって、この信じられないほど複雑で相互に絡み合った世界に目を向けてください。人間の脳は驚くべきものです。そして、何もないところから、まったくの偶然でそれらすべてができた、と考えてみてください。それには盲目的な信仰が絶対に必要です。むしろ、デザイナーが存在すると考えるほうが、はるかに納得のいくものではありませんか?

デザイナーが存在する?!

■ メーカーと製品

電気製品を製造しているメーカーは、製品をデザインし、工場で組み立てます。 そして、その製品を機能させるためのプログラムを製品の中に書き込み、取り扱い説 明書と一緒に出荷します。取り扱い説明書には、その製品の目的と扱い方、および メーカーの名前が明記されています。そして製品が壊れたなら、メーカーの修理機関 にコンタクトするように書かれています。また、メーカーの技術者たちは、彼らが苦労 して開発した製品には自分の子どもに対するような愛情を抱いているものです。

■ 私たちのデザイナー

もし、この世界が創造されたのなら、その創造者はどのような世界を創造するでしょうか? きっと秩序ある世界でしょう。そして私たち人間を創造したのなら、メーカーの技術者以上に、私たちをまるで自分の子どものように愛しており、当然、取り扱い説明書も準備しているのではないでしょうか?

■ 取り扱い説明書と聖書

聖書は独特な書物です。創造者自身が与えた、絶対信頼すべき啓示であると 3,000 回以上も主張しています。また、私たち人間が造られた目的と、人間についての詳しい説明が書かれています。実は、聖書とは、創造主自身が私たちに与えた、私たち自身の取り扱い説明書のようなものです。聖書に書かれた歴史、科学的記述の正確さは最近になって見直されており、実際に誤りであると証明された箇所は一つもありません。

15

では、なぜ災害も死もある世界なのですか?

都会の喧騒を抜け出し、野山に足を踏み入れると、さりげない自然の中に美しさと優しさを感じてほっとします。この世界には秩序があるからです。しかし、ふと道端を見ると、野鳥や動物の遺骸を見たこともあるのではないでしょうか。そして、時として思いがけない大災害が襲うこともあります。私たちは、このことを自然の摂理として、あきらめのうちに受け止めています。形あるものは壊れ、生きているものは死滅すると。すると疑問が出て来ます。この世界が創造されたのなら、なぜ完全なものになっていないのでしょうか?私たちを愛しているはずの創造主が、病気も死もある不幸な世界を創造したというのでしょうか。

■ 人間がいのちの源から離れ去った!

聖書の答えはこうです。もともと人間は幸せであった。しかし、人間がその幸せを壊したのだ、と。すなわち、初めに創造主によって死も病気も災害も無い世界が創造されたが、人がいのちの創造主に反逆して離れ去ったので、いのちを損なった、というのです。

最初に創造された人、アダムとエバは、生みの親である創造主ではなく、サタン(堕落した天使のかしら:被造物であるが、創造主に反逆して自分が神になろうとする存在)に耳を傾けてしまいました。サタンに同調し、ついて行ったのです。それで人と創造主の関係は完全に壊れてしまいました。サタンが人間をこの世界ごとさらって行った拉致事件だと言えます。それでこの世界は、死や病気や災害のある、呪われたものになってしまいました。これらは、人間がいのちの源である方から離れてしまった結果なのです。(創世記3:1~22)

私たちは皆、アダムと同じことをしています。生みの親である創造主を無視し、 創造主の作品である自然環境を我が物のように支配し、あたかも人間は神のような

最高の存在であるかのように生きているのです。聖書が言う罪とはこのことです。

■創造主は私たちを見捨でなかった!

日本では拉致事件が長い間問題となっており、 まだ完全な解決を見ていません。拉致被害者の 両親は万策を尽くし、自分の子が帰って来ること をいつまでも待ちわびて、あきらめることがあり ません。



人間はいのちの源である創造主から離れ、サタンについて行ったために、サタンと共に滅ぶべき存在になってしまいました。しかし、創造主は私たちの生みの親です。そのまま私たちを見過ごしにされませんでした。なんと、創造主ご自身が、この世界に人として来られ、私たちの身代りに死なれました。罪のない方が、罪ある私たちの身代りに罰を受けられたのです。その方とは、イエス・キリストです。ですから、キリストの十字架上の死には、私たちの罪の罰を身代りに受け、代価を払って私たちを買い戻す、という意味があるのです。そのことゆえに私たちは無罪放免とされ、サタンの束縛から解放されることができるのだと告げられています。これが、聖書が告げる福音(良い知らせ)です。

この知らせは、あなた自身が信じて受け取ることで、あなたの上に実現します。生みの親である創造主は、すでに万策を尽くして私たちの帰りを待っておられます。死も病気も災害もない世界を再創造し、あなたに新しい身体を与えるから、共に永遠に過ごそうと。

神(創造主)は実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは 御子(イエス・キリスト)を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを 持つためである。(ヨハネの福音書3:16)

なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神(創造主)はイエスを死者の中からよみがえらせて下さったと信じるなら、あなたは救われるからです。 人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。聖書はこういっています。 「彼に信頼するものは失望させられることがない。」(ローマ人への手紙10:9~11)

私たちには想定外の希望があります!

よくある質問

- 01 化石や地層は何億年前のものとされているので、 聖書の短い地球の歴史は間違いではないですか?
- Answer この世界の長い年代は斉一説 (激変が無かった)という仮説に基づいています。しかし、聖書にはノアの洪水という全地球規模の激変があったことが記されています。もしそれが事実なら、それに伴った大陸移動、地層堆積、化石形成、氷河期が科学的に想定され、何億年という地質年代はなかったことになります。(創世記7章、ペテロの手紙第二 3:3~7) (26ページ:引用 *1の図書に詳細が書かれています)

▼平行地層は、下から上まで土砂が堆積するのに時間差がほとんどなかったことを示しています



Q2 聖書に書かれている奇跡やキリストの復活は本当ですか?

A nswer 私たちが知っている物理法則では、それらは起こり得ません。 多くの人は、聖書の神がこの宇宙の創造主であると知っていても、物理法則の 支配下にあると思っています。しかし、論理的に考えれば、そうではありません。 創造主は、この空間、物質、時間が相互に作用する世界を創られたのです。

ということは、創造主はで自身が造った物理法則 や時間に縛られるはずがありません(パソコンを 開発した人は、パソコンの外にいて、パソコンの 中の電気法則に支配されないのと同じです)。



Q3 罪とは犯罪のようなことではないのですか?

Answer 確かにそのようなことも罪です。しかし、死や災害がこの世界に入る原因となった罪(原罪)は、私たちが生みの親である創造主から離れたことだと聖書は言います。人間の利己的、犯罪的な罪はその症状であると言えます。

Q4 神、創造主、父・子・聖霊、イエス・キリストは どういう関係ですか?

Answer 聖書に神と書かれた唯一の創造主は父・子・聖霊という三つの位格(人格のような現れ)があって、三位一体の存在です。子とはイエス・キリストのことで、聖書には次のように書かれています。

「なぜなら、万物は御子にあって造られたからです。天にあるもの、地にある もの、見えるもの、また見えないもの、王座も主権も支配も権威も、すべて御 子によって造られたのです。」(コロサイ人への手紙1:16、17)

「神は御子を万物の相続者とし、また御子によって世界を造られました。」 (ヘブル人への手紙1:2)

「初めに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。 この方は、初めに神とともにおられた。すべてのものは、この方によって造られた。造られたもので、この方によらずにできたものは一つもない。」

(ヨハネ1:1~3)

これらの箇所の『御子』、『ことば』、『この方』はイエス・キリストのことです。 なんと、この世界の創造主が、二千年前に人間として生まれ、十字架にかかった というのです。

□に登る道がいくつもあるように、多くの宗教が超越した神に向かって別々の方法で昇っているだけなのでは?

Answer 聖書の福音以外のすべての宗教やヒューマニズム哲学は、人間が超越した存在に向かって昇っていくという思想に基づいています。しかし、聖書の福音だけが、逆に、この世界の創造主が私たちのところに下って私たちと同じ血族になり、私たちの罪を背負って、私たちが受ける罰の身代りに十字架にかかられたという話です。



26 聖書は西洋のものであり、日本人には無関係なのでは?

Answer 聖書は近代、欧米文化と一緒に入って来たので、西洋のものだというイメージになってしまいました。しかし、聖書はすべての人に与えられたのであって、西洋だけのものではありません。日本の神道には旧約聖書の習慣に酷似した部分が見られますし、日本の仏教には聖書の一部を取り込んだと思われる部分もあります。視点を変えて日本の歴史や文化、習慣を調べると、かつて日本は聖書と深い関わりがあったようです。

07 特別な人だけが救われる(いのちを回復される)のですか?

Answer 聖書は、救いは人間の業ではなく、ただ神(創造主)の恵みによって与えられるものだと言っています。

「すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず、ただ神 の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いのゆえに、値なしに義と認められる のです。」(ローマ人への手紙3:23、24)

「主の御名を呼び求める者はだれでも救われるのです。」(ローマ人への手紙10:13)

すなわち、だれであっても、あなたの罪のために十字架で死なれ、復活された イエス・キリストを信じるだけで救われます。

引用

*1 引用:「創造の疑問に答える」ドン・パッテン編 共著(パイブル&クリエーション出版)第 1 章より http://b-c.jp 英語版オリジナル 'The Creation Answers Book'Creation Ministries International; http://creation.com *2 引用:「創造の確かな証拠」カール・ウィーランド著 松原弘明訳 (パイブル&クリエーション出版) http://b-c.jp 英語版オリジナル 'Stones and Bones' Creation Ministries International; http://creation.com

文・画像・デザイン提供

文と画像 (尾瀬沼): 安井 亨、画像 (進化系統樹、地層): Creation Ministries International、画像 (グランドキャニオン): 堀越暢治、デザイン: 廣瀬玲子

査読・アドバイス 赤江弘之 Neville Chamberlain 堀江博昭 三橋恵理哉 渡辺 亨

協賛 いのちありがとうの会 http://elifep.heteml.jp バイブル&クリエーション http://b-c.jp

制作 ゴフェルトゥリー・プロダクション http://gophertree.jp